

## 体育科学研究科

	年次	定員	志願者		受験者		合格者	入学者	
			学内	学外	学内	学外		学内	学外
学生の確保 (人)	1年次	—	—	—	—	—	—	—	—
		※ (—)	※ (—)	※ (—)	※ (—)	※ (—)	※ (—)	※ (—)	※ (—)
3年次 編入学		—	—	—	—	—	—	—	—
		※ (—)	※ (9)	※ (3)	※ (9)	※ (3)	※ (5)	※ (4)	※ (1)
学位授与数 (人)	博士課程修了				論文博士		博士課程修士		
	修了年次定員		修了者数		授与数		授与数		
	10 (10)		14 (11)		— (—)		2 (12)		
学生の研究活動 (件)	論文・著書発表数			学会発表数			受賞・表彰等		
	93 (208)			99 (227)			2 (3)		
学生の進路 (人)		教員	企業	公務員	研究員 (学術振興会)	その他			
	修了者	4 (1)	— (—)	1 (1)	— (—)	9 (9)			
	退学者	2 (4)	2 (—)	2 (4)	— (—)	1 (4)			

・論文・著書発表数については、英語文に限る。

・( ) は前年度の数値を、※は外国人留学生を内数で示す。

### 1 体育科学研究科の活動

21世紀COEプログラムにおいて中間報告を実施した。学位授与者（課程修了者）も14名と前年を上回った。

### 2 教員の教育業績評価の状況

教員の体育科学研究科担当を積極的に推進すべく、公募を行い指導体制の充実を計った。教育、研究業績に応じた予算配分が定着し、成果での評価主義は教員の教育研究にプラスになった。

### 3 自己評価と課題

平成13年度以来懸案事項となっている教員の研究科担当の継続・非継続者を実施する件について賛否さまざまな意見が出され、調整することはできなかった。講師の身分と研究指導、授業担当の立場を考慮した審査基準を作成し、客観的な指導体制の確立が望まれる。